



城南小学校 学校だより

令和3年3月1日(月)

校長 中嶋 英雄

<ホームページ>

明治15年・山岡鉄舟揮毫の校名額

<http://school.cts.ne.jp/~jonan/index.html>

『感謝の辞』 ～落成式典より～

校長 中嶋 英雄

新しい園庭や校庭には、四季折々に花咲く木々、また、実のなる木々をたくさん植えていただきました。早速、梅の花が咲いています。校庭の「緑」と空の「青」に「赤」や「白」が映え、さらに、子どもたちの元気な声で、この城南幼稚園、城南小学校は色鮮やかな春を迎えています。

『私は一年生の時、どんな校舎、校庭が出来上がるのか、想像が付きませんでした。だけど、2年生になってから、校舎に入ってびっくりしました。こんなお城のような門・校舎で勉強できるのは夢のようです。』(2年生)

平成27年9月の設計開始から、全ての改築工事を終えた今年の1月末まで、実に5年と4か月の歳月が流れました。工事開始前に遺跡発掘調査が行われたこと、新型コロナウイルス感染拡大という予想外の出来事が重なり、本日を迎えることが叶うのかと懸念しましたが、皆様のお力添えにより、大きな節目の日をここに迎えることができました。この新園校舎工事全ての工程を見守りながら、未来に思いを巡らせることができたことは、まことに光栄であり、また、感慨深いものがあります。

『ピカピカの新校舎、いろいろな遊具。校舎が新しくなり、私の心も一緒にピカピカになったように感じています。リニューアルを始めてから何年間でしょうか…。旧校舎でも「ガンガン」と作業をしている姿が見えました。先日は、校庭を整地している姿を見かけました。その時の円熟した技術に言葉が出ないほど、感動しました。』(5年生)

改築工事に携わってくださった皆様は、子供たちの生き生きとした姿、あふれる笑顔、人と人とが交わる温かみにぎわいを思い描きながら、力を尽くしてくださっていたのを強く感じました。また、常に安全を第一に考え、教育活動が滞らないようにと心を砕いてくださいました。要望にも可能な限り応えてくださり、アドバイスもいただきました。『共に作ってきた』と言っては叱られるかもしれませんが、それだけ学校に寄り添ってくださり、心が通い合う仲間であるという思いがあります。

『東海道の風情を感じられるこの新校舎をつくってくださって、ありがとうございました。私は、一階の東海道をイメージしてつくられている廊下がすごく好きです。通ると昔の人になったみたいでワクワクします。その廊下にあるベンチに座って友達と話すことが楽しみになりました。下級生には、この素晴らしい校舎を10年、50年、100年後も、ずっと残して行ってほしいと思います。』(6年生)

古くからの思い出深いものをいくつも残していただきました。演台も園校舎完成を記念して昨年3月に、校友会様と六行会様から寄贈していただきました。また、貴重な資料も立派な記念室に収めることができました。地域や卒業生の皆様にとって、この園・学校が昔の日々を思い出しながら旧交を温めることのできる場になっていただけたら、嬉しい限りです。

平成28年度から令和元年度の卒園生や卒業生には不便な生活を強いることになりました。地域や保護者の皆様は長い間、工事の進捗状況を優しく見守ってくださり、八潮高校の校長先生は4年間、校庭を快くお貸しくださいました。お蔭さまで厳しい状況の中でも、当時の子ども達も精一杯に遊び、勉強に励み、新たな園風、校風をつくり続けてくれました。常行寺さんの本堂、太子堂で開校して以来、146年の伝統を確かに受け継いでいくことのできる感謝と覚悟をここに改めてお伝えします。

この素敵な園校舎には、我らのシンボルである「星」が散りばめられています。その星を見つめると、創立当時の方々の熱い思い、困難に立ち向かう勇気、地域の方々の優しい言葉が伝わってくるのを感じます。『光る星章、われらの標』と校歌にもありますが、子ども達が高い志をもって未来に羽ばたいていけるよう、本園・本校が心のふるさととなり、地域の誇りとして存在し続けることができるよう、幼稚園・学校が一体となり、教職員一同、さらに一層の努力を重ねてまいります。

あとしまつをしっかりとしましよう

<3月の行事予定>

日	曜日	主 な 行 事 予 定
1	月	城南web 清掃なし 委員会活動
2	火	
3	水	クラブ活動
4	木	清掃なし 保護者会 (4・5年 ZOOM)
5	金	
6	土	二分の一成人式 (4年)
7	日	
8	月	城南web 6年生を送る会 送別球技大会 (5・6年)
9	火	安全指導日 縄跳び記録会 (2年)
10	水	卒業遠足 (6年) 保護者会 (1・2・3年 ZOOM)
11	木	避難訓練 スイス交流 (3年) 卒業演奏会・保護者会 (6年)
12	金	社会科見学 (5年)
13	土	
14	日	
15	月	城南web 5時間授業
16	火	
17	水	エクアドル交流 (1年)
18	木	
19	金	
20	土	春分の日
21	日	
22	月	城南web 1～5年午前授業 卒業式予行 (6年)
23	火	給食終 大掃除 午前授業 (5年のみ5時間)
24	水	卒業式 (1～5年休業日)
25	木	修了式 午前授業 給食なし
26	金	春季休業日始
27	土	
28	金	
29	土	
30	土	
31	日	

4月6日 (火) 着任式・始業式・入学式

4月7日 (水) 給食始・午前授業

校庭引き渡し式・落成式

教務主幹

新園校舎の構想がもち上がってから約6年。長かった工事もやっと終わり、2月5日に校庭引き渡し式を行いました。児童の感謝のメッセージを建築関係の方に手渡し、これから長く大切に校庭や校舎を使っていくことをお伝えしました。

式の後、子どもたちは広々とした校庭で遊びました。「人工芝がふかふかで気持ちいい。」「歩いたときザクザクと音が出て、新しく歩いたんだなと思った。」「走り疲れて人工芝に寝転ぶと、魔法のようにパワーがわいてきたような感じがした。」など、喜びを全身で表していました。サッカーなどの体育の授業もできるようになり、これから体力向上に努めていきます。



2月20日には品川区長、区議会議長をはじめ区の関係者と、工事関係者・地域の方を来賓に迎え、新園校舎落成式が挙行了されました。式の中で区長より工事関係者に感謝状が贈呈され、校長の謝辞の終わりには子どもたちの学校生活をまとめた動画を上映しました。

コロナ禍で密を避けて開催するために、PTA 落成式委員会の方にご協力いただき、別室に会場の映像を同時配信しました。ありがとうございました。



作品展「きらりん☆城南初祭り!? ～アートで心の距離^{ハート}_{ディスタンス}を縮めよう～」

図工専科

今年度の作品展テーマは、子どもたちの言葉から生まれました。新園校舎落成を祝い、城南の皆が輝ける、そんな行事を目指して「きらりん☆城南初祭り!？」。そして、ある5年生のアイデアから生まれた「アートで心の距離を縮めよう」は、何事につけても感染症を気にしながら身体的な距離を取り生活しなければならぬ、まさに現在の子どもの心からの願いを象徴する言葉でした。



このような作品展示では、学芸会や運動会のように、目の前で動くお子さんの姿はありません。ですが、作品にあらわれた色や形を丁寧に読み取っていくと、一人一人の思いや奮闘ぶり、表したかったことなどがじわじわと心に伝わってきます。実際にそこにいなくても作者の存在を感じさせてくれるのがアートの力。会場巡回をしている時、自分の作品はもちろんのこと、他学年の作品の素敵な所も一生懸命に紹介している子の姿をたくさん目にしました。互いに感性や想像力を働かせれば、作品を介して見ている人と表した人との心が繋がっていく…アートが子ども達同士の心の距離を縮めているんだなあ…と感じる場面でした。

校内分散展示、人数制限という不自由な中、多くの保護者の方々にもご来場いただきました。ピカピカの校舎の中を親子で一緒に巡ったり、作品について語り合ったりすることで、親子間の心の距離^{ハート}_{ディスタンス}もより近く、楽しいひと時をお過ごしになれたでしょうか。コロナ禍における作品展開催に対しまして、保護者の皆様のご理解と温かい励ましのお言葉を頂戴しましたこと、深く感謝申し上げます。

英語科より

英語科主任

本校では、オリンピックパラリンピックアワード校に指定されており、国際理解教育を積極的に行っています。今年度は、活動が制限されている中、アメリカの小学校とのグリーティングカード交流やオーストラリアの小学校とのビデオチャット交流を行いました。また、スイスやエクアドル大使館の方々を招いて異文化について理解する交流も予定しています。

英語の授業では、全学年がジョイントストーリーテリングを行っています。多くの子どもたちが知っている昔話などの物語を、会話風にしたリズムカルな英語で表現する学習です。ジェスチャーを交えながら身体いっぱい英語を楽しみ、英語への興味関心を高めています。おうちでも、覚えた歌やフレーズを口ずさむ子供がいるのではないのでしょうか。

また、品川区では英検チャレンジ事業として、希望者5、6年生に対し年一回実用英語技能検定（英検）の検定料を助成しています。それに先立ち、英検を受ける児童に対して、未来塾ではJTE（日本人英語教員）の方たちなどによる対策講座も行っています。

これからも、子供たちが相手のことを考えながら積極的にコミュニケーションを図れるよう英語教育を充実させていきます。

